

Q トーチ調整を行った時、ピーク形状異常。

A プリオプティクスミラーの動きが良くない可能性があります。

ピーク形状異常の場合以下のことが考えられます。

» プリオプティクスミラーの動作不良

» **プリオプティクスミラーの動作不良**

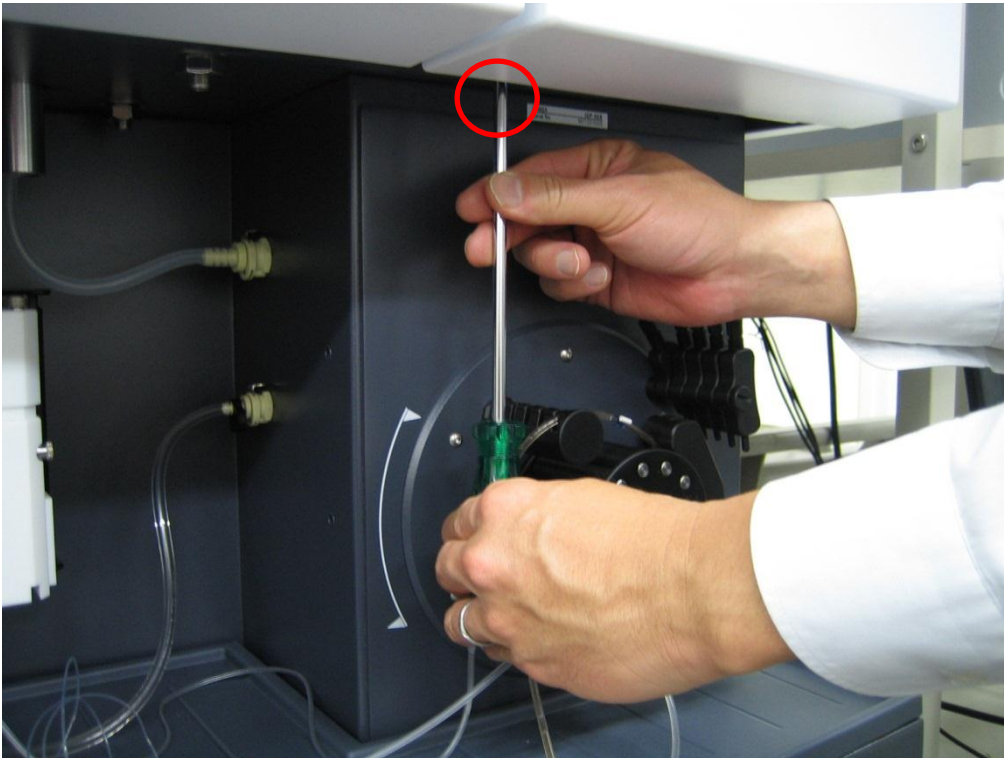
事前に以下の物をご用意ください。

- ・プラスドライバー
- ・潤滑油(例:KURE 5-56 など)
- ・ティッシュペーパー

1. 装置右側○印の化粧カバーを外します。



2. ○印の場所に、プラスネジがあるので緩めてください。
※ネジを外す必要はありません。



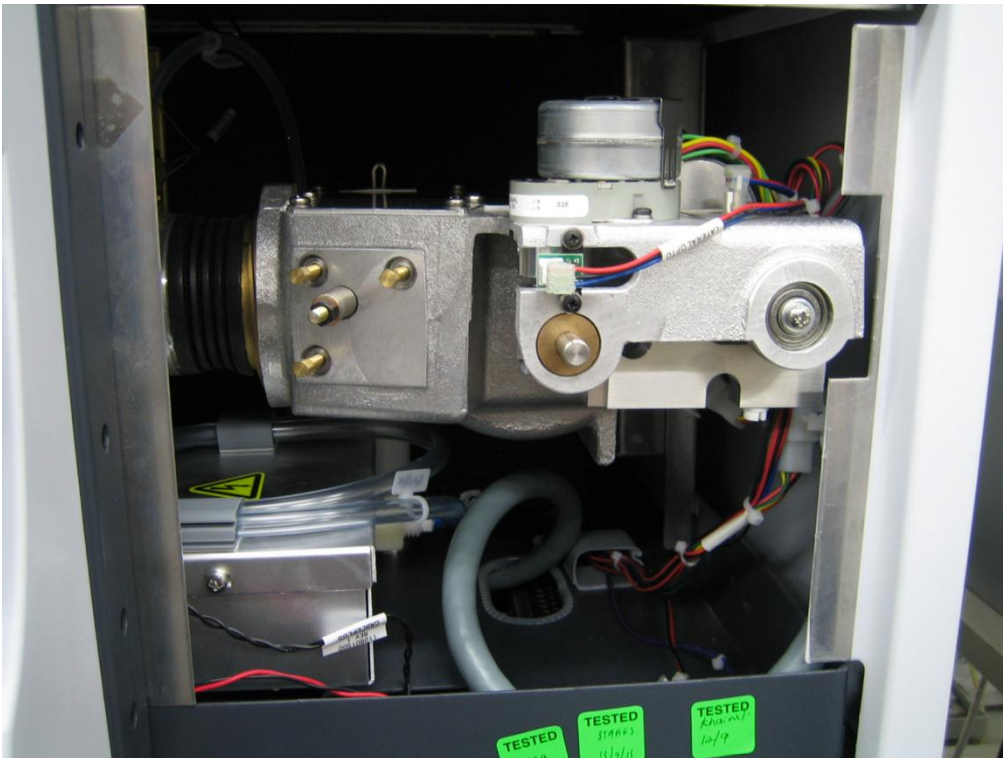
下から見た場合、下記になります。



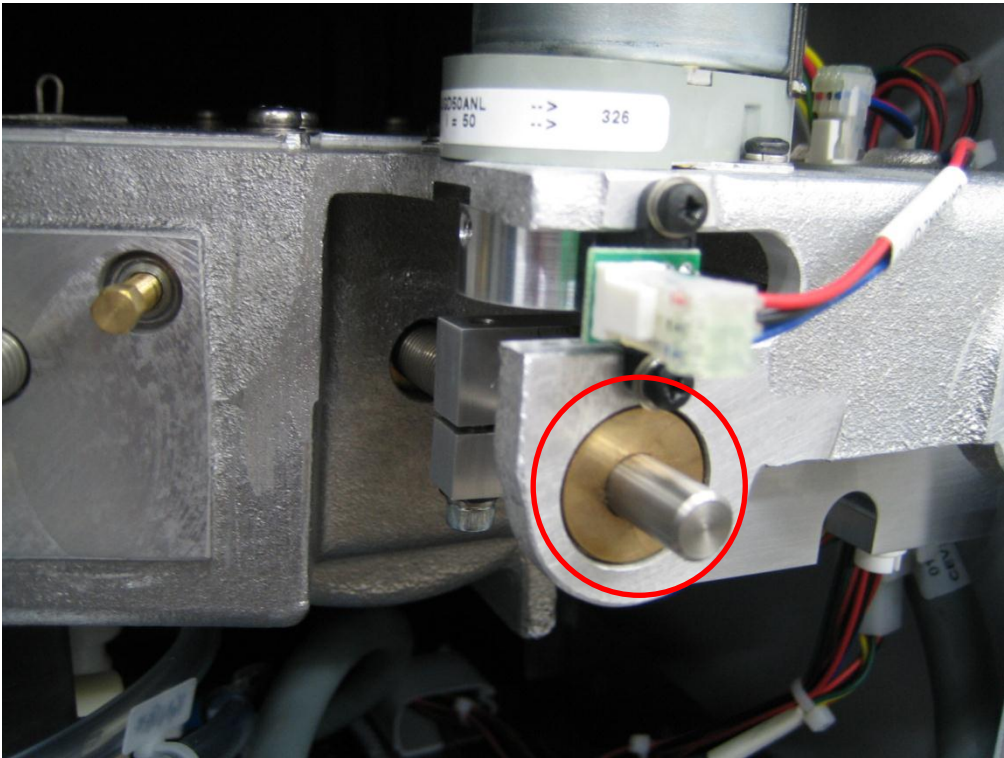
3. ネジを2 か所緩めましたら、白いカバーだけを外します。
ネジを緩めた付近を持って頂き、①の方向に引っ張り、手前にずらしてください。
そのまま白いカバー全体を②の方向に引っ張ると外れます。



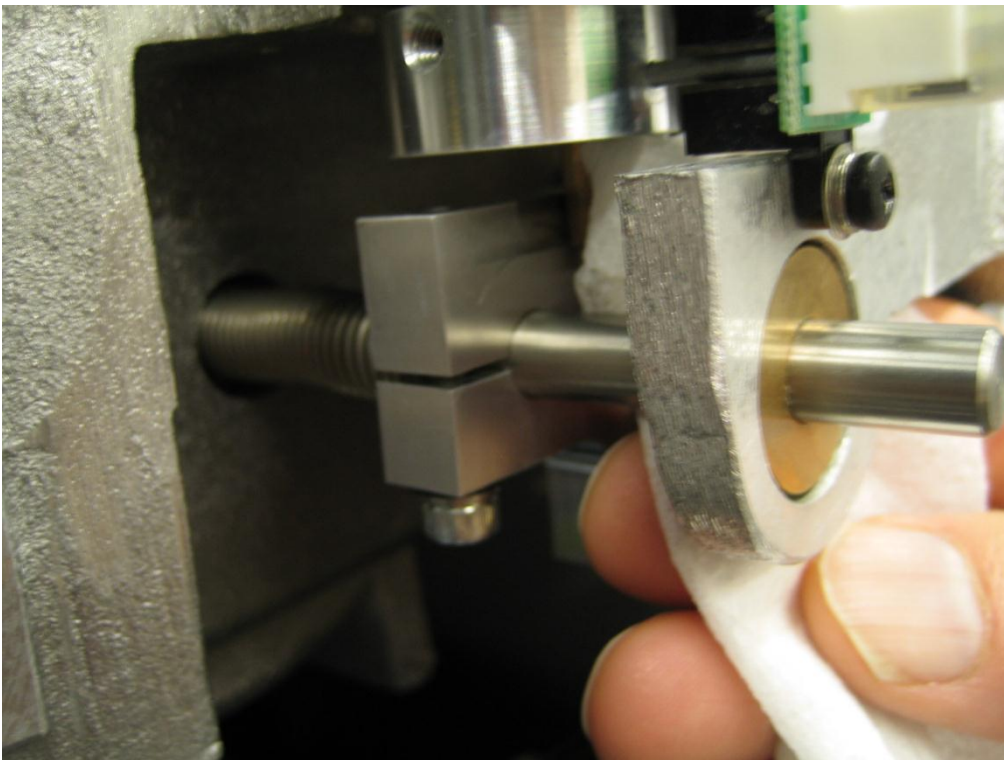
4. カバーを外しますと下記の部分が見えます。



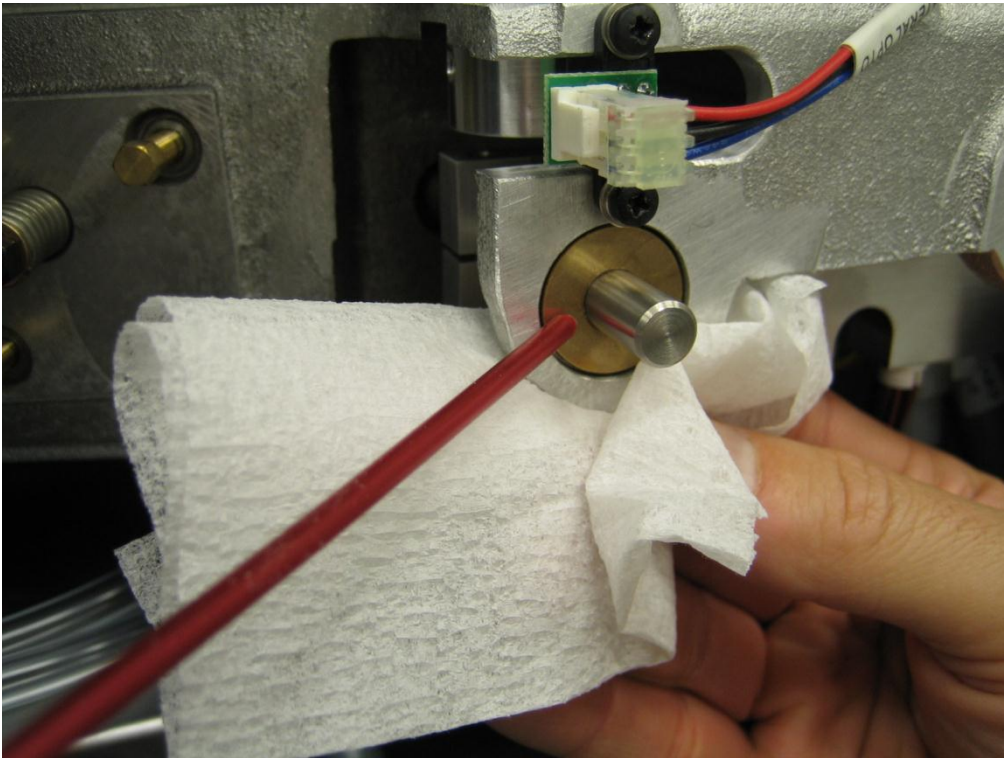
5. ○部分に潤滑油を塗ります。以下の手順で実施してください。



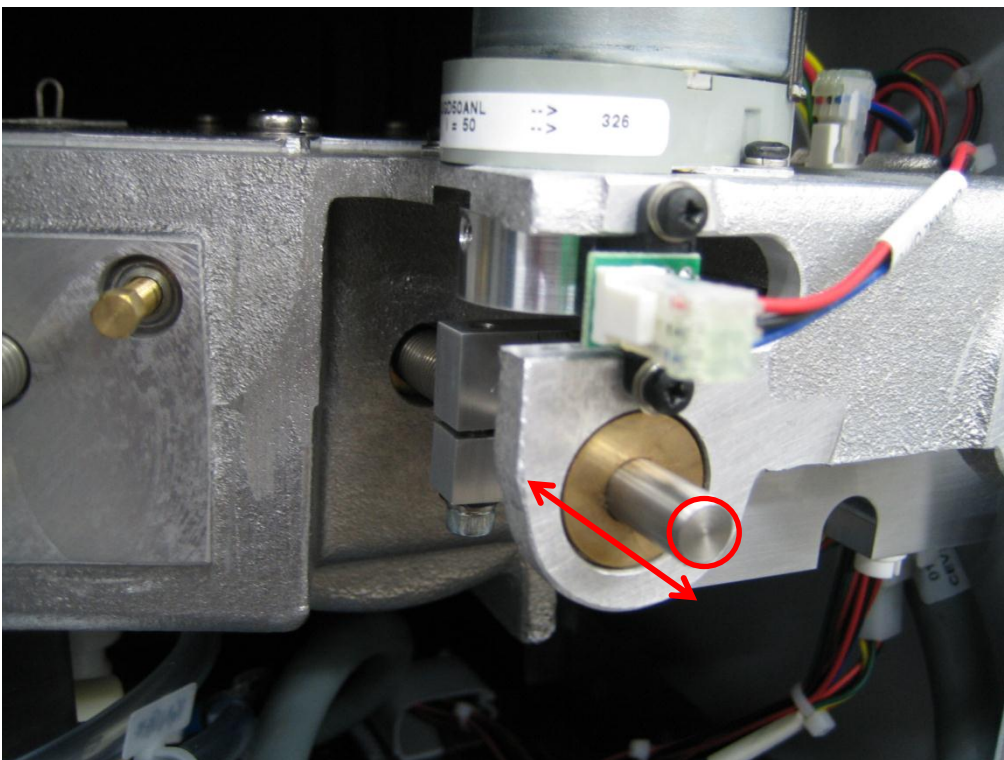
6. 綺麗なティッシュペーパーでシャフトの汚れを拭き取ってください。



7. シャフトの根元に潤滑油を少量拭きかけてください。その際、潤滑油がこぼれない様に、ティッシュペーパーを下記の様に押さえて行ってください。



8. シャフトの○部分を矢印の方向に指で押していただき、潤滑油を馴染ませてください。



動きが固いようであれば、6～8を数回行ってください。

改善が見られない場合は、下記までお問い合わせください。

ご不明な点は、カスタムコンタクトセンターまで(電話受付 9:00～12:00、13:00～18:00 土、日、祝日は除きます)

電話  **0120-477-111**

E-mail: email_japan@agilent.com

FAX  **0120-565-154**

<http://www.agilent.com/chem/jp>